

Sebek × Silver

雷鳴が 鳴らない

R18
ADULT ONLY

成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止





高校生を含む18歳未満の閲覧・購入を禁じます

- 魔法についての捏造設定有り
- この本はセベク×シルバーです
- 内容の都合上セベクが静かです

あらすじ

授業中の事故で
声が出なくなった
セベク・ジグボルト

いっ
ろっ

うわーマジで
喋れないんだ
大変そう

……

in 保健室

教室に置きたかった
お前の荷物
もってきても
やったぞ



ギロリ

たまには
静かでは
いいじゃん

顔
怖









寮に戻ろう

なんとなく

言いたそうなのが
ことはわかるが



ムスッ

ああ
すまない



あの雷鳴が
聞こえないのは
少し寂しい

またやっかいなモノ
引っかけて来たのお



手っ取り早く
直す方法が

無くはないん
じゃが...



どうにか
なりませんか
親父殿
このままでは
生活にも支障が...

夜は
おかし
なためです

そうじゃの



あれ治るのに
1か月ぐらい
かかるじゃろうな

1か月!?

(セバ7のへや)





“どうして貴様が
僕の部屋にいるんだ”

治療の為だ
親父殿が
教えてくれた
方法なんだが…



はくはくはく



今から俺の
魔力の一部を
お前に移して

強制的に
魔力量を上げ
治療スピードを
上げる

効率よく
魔力を移す為には
性的快感が必要で…

……



今から
俺とお前で
性行為を

……する



“論点だけ言え”

“貴様の口下手には
付き合いきれん”

よ、要は



どうして相手が
俺なんだと
言わんばかりの顔

ギィ...



...



というか一般人の
魔力量では到底

かといって親父殿や
マレウス様を
頼るわけにはいかない
だから、



こ、このままでは
任務にも生活にも
支障が出る

しかしお前はまた
学生だから
そういう相手は
買えないだろう



お前が嫌なら
目隠しでもして
我慢してくれ

お二人の名前を
出せばセベクは
断れないだろう



俺がセベクにて
片思いしていて
ただ抱かれて
みたかっただけだ

準備もしてきた



俺が相手をするのが
適任だと判断した

等と尤もらしい
理由をつけては
いるがこれは

受け入れる側は
俺でかまわない

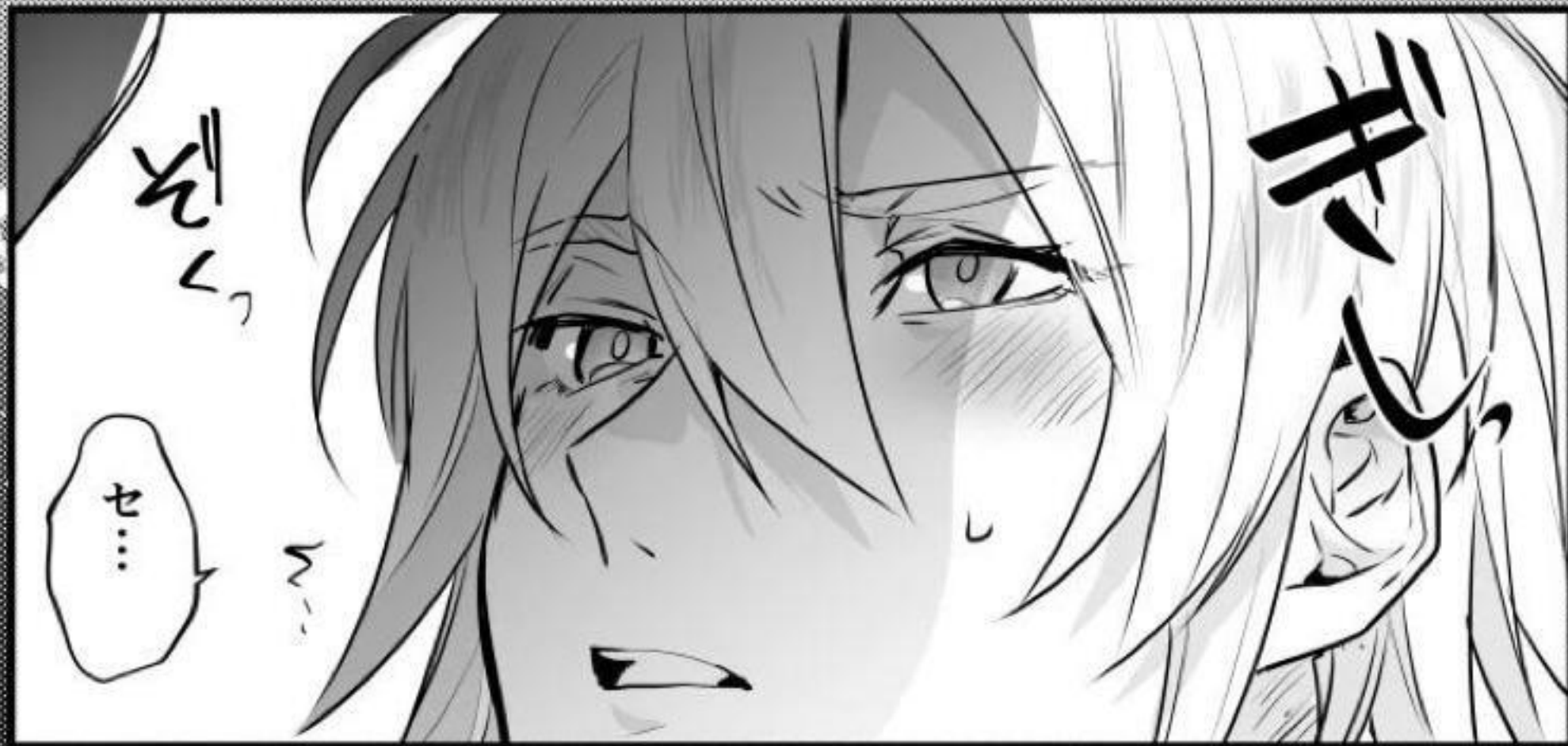




























＝あとかき＝
お手に取っていただきありがとうございます
rakkaです

シルバー、隙あらばセンチメンタルにしてごめんな！（懺悔）

「雷鳴が鳴らない」
発行者：rakka
発行：とらねこ横丁
発行日：2021.10.03
印刷：しまや出版様
連絡先：rakka.asu@gmail.com

オク
禁止

ネットオークション・
フリマアプリでの転売禁止

転載
禁止

無断転載・複製・複写・
Web上へのアップロード禁止

R18
ADULT ONLY

成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

この本は個人が非公式に発行したものです。
実在の人物、作品、制作会社、原作者とは一切関係ありません。
This work is an unofficial publication by a private individual.
Any similarity to actual persons, works, or production companies is unintentional.

関係者の方および一般の方の目に触れる可能性の
ある行為（無断転載、転売、複写など）を禁じます。
Any act (including but not limited to unauthorized reprinting, resale, or reproduction)
that exposes this work to the general public or persons related to the author is prohibited.

無断転載、複製、複写、インターネットへのアップロード
（ソーシャルメディア、ネットオークションなど）、中古書店などへの転売を禁止します。
Unauthorized reprinting, reproduction, replication,
uploading to internet sites (social media, net auction sites, etc.),
or resale to secondhand bookstores is prohibited.

必要なくなった場合は一般の方の目に触れないような方法で破棄してください。
If the work is deemed to be no longer necessary,
it must be destroyed using appropriate methods to prevent exposure to the general public.